

<b>事業名</b>	免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業	<b>レビュー番号</b>	2022-厚労-新23-0018	<b>担当部局・課室</b>	健康局 がん・疾病対策課
------------	-------------------------------	---------------	------------------	----------------	--------------

**現状分析**

厚労科研「アレルギー疾患の患者および養育者の就労・就学支援を推進するための研究」における調査で、アトピー性皮膚炎、関節リウマチのために仕事を辞めたことがあると回答した割合が、それぞれ13.7%、75%と高く、また、アトピー性皮膚炎において、仕事のために通院が制限された結果症状が悪化することが時々以上あると答えた割合が27.3%もみられた。さらに子供が食物アレルギーのため定期的な通院に付き添う必要があったり、アレルギー除去食の準備に時間がかかる等の理由で仕事が制限されるケースも多数あることが明らかとなっている。

**課題**

厚労科研の報告書において「アレルギー疾患や関節リウマチの患者や養育者への就労や就学への影響があるにもかかわらず、その支援策が十分でないことがうかがわれた」とされており、アレルギー疾患や関節リウマチの患者や養育者の就労を維持するために、全国的に免疫アレルギー疾患に対する両立支援体制を整備する必要があると考えられる。

**事業概要**

【新規 既存 モデル 大幅見直し】

本取組を効果的に推進するために、**専門的な知識を有する「両立支援コーディネーター」を都道府県アレルギー疾患医療拠点病院に配置する**。公募で採択された医療機関において、両立支援コーディネーターが中心となり、免疫アレルギー疾患患者またはその家族の個々の治療、生活、勤務状況等に応じた、治療と仕事の両立に係る計画を立て、両立支援を行うモデル事業を実施する。

【インプット】

【アクティビティ】

【アウトプット】

【短期アウトカム】

【長期アウトカム】

【インパクト】

令和5年度  
予算案  
38（単位：  
百万円）

①免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル病院の設置

②モデル事業病院での就労に関する相談・支援の実施

①モデル事業病院  
令和5年度：全国で8施設のモデル事業

②モデル事業病院での就労に関する相談・支援実績  
令和5年度：100件

①モデル事業病院での就労支援による免疫アレルギー疾患患者離職率の低下  
令和5年度：モデル事業病院で前年度からマイナス10%

②モデル事業病院での就労支援により、仕事で通院が制限されることにより、症状が悪化する割合の低下  
令和5年度：モデル事業病院で前年度からマイナス10%

③モデル事業病院での就労支援による家族に免疫アレルギー疾患患者がいる方の離職率の低下  
令和5年度：モデル事業病院で前年度からマイナス10%

①全都道府県での両立支援実施  
令和8年度：全都道府県での免疫アレルギー疾患に対する両立支援の実施

②本人・家族の免疫アレルギー疾患を理由に離職する件数の低下  
令和10年度：R4年度と比較して離職者数が50%低下

【長期アウトカムに関連する事業】  
アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針

免疫アレルギー疾患を有する者の生活の質の維持向上